

西宮市

西宮市における地域移行推進事業 における取り組み

西宮市では、平成25年度 精神保健福祉法の一部改正に伴い早期退院に向けた仕組みの導入が必要となり、地域移行の課題を病院、相談支援事業所、行政等で協議を開始した。管内には積極的に地域移行に取り組んでいた事業所や、地域移行に関心のある支援者がいたことが、当市での地域移行の取り組みが進むきっかけとなった。

平成28年度から西宮市精神障害者地域移行推進事業を実施している取り組みについて報告する。

1 県、指定都市、中核市、特別区の基礎情報



障害保健福祉圏域数 (R●年●月時点)			か所
市町村数 (R●年●月時点)			市町村
人口 (R8年5月時点)		480,694	人
精神科病院の数 (R8年5月時点) (精神科)		2	病院
精神科病床数 (R8年5月時点)		707	床
入院精神障害者数 (R7年6月時点)	合計	456	人
	3か月未満 (% : 構成割合)	134 29.4	人 %
	3か月以上1年未満 (% : 構成割合)	73 16.0	人 %
	1年以上 (% : 構成割合)	249 54.6	人 %
	うち65歳未満	104	人
	うち65歳以上	145	人
	入院後3か月時点		%
退院率 (R●年●月時点)	入院後6か月時点		%
	入院後1年時点		%
	心のサポーター養成者数	170.0	人
相談支援事業所数 (R8年5月時点)	基幹相談支援センター数	2	か所
	一般相談支援事業所数	47	か所
	特定相談支援事業所数	53	か所
保健所数 (R8年5月時点)		1	か所
(自立支援) 協議会の開催頻度 (R7年度)	(自立支援) 協議会の開催頻度	31	回/年
	精神領域に関する議論を 行う部会の有無	無	
精神障害にも対応した地域包括ケアシステム の構築に向けた保健・医療・福祉関係者による 協議の場の設置状況 (R8年5月時点)	都道府県	有・無	か所
	障害保健福祉圏域	有・無	か所/障害圏域数
	市町村	有	1 / 1 か所/市町村数

第4期障害福祉計画で長期入院精神障害者の地域生活への移行に取り組むことを基本方針とし、平成28年度から地域移行推進事業が開始した。

令和7年度までの主な取り組み

・地域移行推進会議

地域の保健、医療、福祉サービス等の社会的基盤が有機的に連携することができるような、精神障害者地

域移行システム構築のための協議を行う。

・聞き取り調査

1年以上の入院患者の面会対象者リストを協力病院が作成し、行政もしくは相談支援事業所が面会を実施。

・個別面会活動

聞き取り調査で継続した面会を希望した入院患者の話を聴き、本人の権利や希望する情報を伝える活動。

・ケース受理会議

本人からの聞き取りと病院からの情報を受け、その人らしいよりよい地域（病院）生活の支援方針を検討する。地域支援のプラットフォームとして必要な支援機関を会議参加機関から紹介する。

・地域移行実務担当者会議（なんでも相談）

長期入院患者等の個別支援に関する進捗状況、退院困難患者の支援や各病院ごとの課題について意見交換。

・ピアサポーターの育成

ピアサポーターの活動の拡大とピアサポーターの交流会

兵庫県（平成19年度～）

精神障害者地域移行支援事業を市内の相談支援事業所に委託

西宮市

平成24年度 地域移行支援の個別給付を開始

平成25年度 精神保健福祉法の一部改正となり早期退院に向けた仕組みの導入が必要
地域移行の課題を病院、相談支援事業業、行政等で協議

平成26年度 精神障害者地域移行支援・定着支援の体制整備について庁内で協議
（入院患者の実態調査実施）

平成27年度 精神障害者地域移行支援推進会議準備室の立ち上げ

平成28年度 西宮市精神障害者地域移行推進事業を実施し、NPO法人ハートフルに委託

令和4年度 地域移行実務担当者会議（なんでも相談）を実施

令和5年度 個別面会活動者養成研修を実施

令和6年度 個別面会活動を実施

令和7年度 高齢分野の支援者が参加（市の担当課、地域包括支援センター、在宅療養相談支援センター）

＜R 7 年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R 7 年度当初)	実績値 (R 7 年度末)	具体的な成果・効果
①地域移行推進事業における聞き取りおよび面会（難しい場合は手紙か電話）の実施（延べ）	81回	136回（聞き取り調査・面会69回、手紙や電話67回）	長期入院患者の意向や現状把握を実施した。その中で支援が難しいケースについては、ケース会議等で検討した。2名が地域移行支援につながった。
②地域移行推進事業関係会議等の開催	30回	30回	地域課題、関係機関との連携、長期入院患者の個別支援の共有を図った。高齢の長期入院患者が多いことを踏まえ、高齢分野の担当課にも参加依頼し連携の強化を図った。
③個別面会活動者の登録	19名	19名	個別面会活動養成研修を開催し、12名受講し登録者は10名であった。

【特徴（強み）】

- ①地域移行推進事業の協力病院が長期入院患者のリスト作成に協力している。
- ②長期入院患者へのアウトリーチとして聞き取り調査の実施をしている。
- ③病院が抱える困難ケースに対して、支援受理を検討するプラットフォームがある。
- ④病院、相談支援事業所、行政が定期的に話し合える場がある。
- ⑤地域移行・地域定着に積極的な事業所が市内にある。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割（取組）	
65歳以上の長期入院患者が多く、高齢分野との連携が必要	高齢分野の担当者に当事業へ参加いただき、障害者にも対応した地域包括ケアシステムの取り組みについて理解してもらう。	行政	高齢分野担当者に対する会議参加への働きかけ
		医療	精神科病院内での高齢者の現状や課題を報告
		福祉	高齢の精神障害者の現状や課題を報告
		その他関係機関・住民等	会議への参加
		行政	
		医療	
		福祉	
		その他関係機関・住民等	

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (R 8 年度当初)	目標値 (R 8 年度末)	見込んでいる成果・効果
①高齢部門の福祉のまちづくり課が地域移行推進事業の構成機関として会議に参加	6回	7回	高齢分野との連携の促進
②高齢分野の会議に参加する。 高齢分野で使用している西宮市退院調整ルールが精神分野でも活用できるか検討する場を持つ。	実施なし	2回 1回	高齢分野についての理解 高齢分野と精神分野の連携強化

【にも包括構築の体制】

健康増進課が精神科病院、相談支援事業所、保健福祉センター、精神保健福祉センター、家族、警察等が参画する西宮市精神保健福祉連絡会（協議の場）を開催。

所管部署名（※）	所管部署における主な業務	連携部署・機関名	連携部署・機関における主な業務
健康増進課（精神保健企画チーム）	精神保健に関する企画や人材育成を担当	障害福祉課	地域生活支援給付を担当
		健康増進課（地域支援チーム）	地域における精神、成人の保健・福祉に関する相談・訪問指導等を実施

（※事務局を担当する部署）

各部門の連携状況		強み・課題等
保健	精神保健企画チームが関係機関とのネットワーク構築。困難ケースがあれば会議の場等で検討。地域支援チームが措置入院者に関する退院後支援や個別支援に関する地域ケア会議等に参加。	今年度より精神保健の個別支援チームが立ち上がった。人員不足の課題はあるが、専門性を発揮した質の高い支援ができる体制となった。
医療	管内の病院関係者の会議・事例検討会への参加協力がある。	地域移行実務担当者連絡会を実施し、病院のコメディカルとの顔の見える関係ができた。 病院と地域との視点の違いによるズレがある。 病院における新人看護師の比率上昇に伴い、看護の質の向上と地域移行への理解促進が課題となっている。
福祉	相談支援事業所が個別ケースを通じて病院、障害福祉サービス等事業者などと地域の関係機関とネットワークの構築ができている。	地域移行支援に携わることができる相談支援事業所が少ないが、増やせるよう働きかけを行っている。 病院関係者が相談支援事業所に協力要請を発信してくれる。
その他関係機関・住民等	地域で暮らす高齢の精神障害者支援には、地域包括支援センター、在宅療養相談支援センター等の協力が得られる。	高齢者の地域移行（退院支援）は帰住先が決まっていないと関係機関やケアマネなどの協力が得られない。 高齢分野の職員の精神疾患に関する専門知識や対応経験が十分でないが、研修等を実施して対応力の向上に努めている。

※各部門の状況はできるだけ詳しく記載ください

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	既存の会議体を活用している場合はその名称・課題・強み等
西宮市精神保健福祉連絡会	保健：健康増進課、兵庫県精神保健福祉センター	1回/年	・協議の場として関係機関と情報の共有および意見交換	・保健、医療、福祉で顔の見える関係が築けている ・当事者の参画がないことが課題
	医療：仁明会病院、有馬病院、ありまこうげんホスピタル、兵庫医科大学病院、訪問看護ステーションネットワーク西宮			
	福祉：障害福祉課、福祉のまちづくり課、くらし支援課、総合相談支援センター、地域自立支援協議会			
	その他関係機関・住民等：警察、医師会、西宮家族会			
	保健：			
	医療：			
	福祉：			
	その他関係機関・住民等：			

【その他事項】

※協議の場の運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載してください

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための 協議の場に関連する会議等の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項（課題・強み等）
推進会議	保健：健康増進課	3回/年 (4月、8月、12月)	地域移行推進に向けた話し合いや課題の共有・協議 令和6年度からは65歳以上の長期入院患者への支援について力を入れ協議している	昨年度より高齢分野の担当部署（福祉のまちづくり課）が参加。
	医療：仁明会病院、有馬病院、ありまこうげんホスピタル			
	福祉：障害福祉課、くらし支援課、福祉のまちづくり課、障害者総合相談支援センター、在宅療養相談支援センター、障害者権利擁護支援センター、障害者相談支援センター、就労継続支援B型事業所			
	その他関係機関・住民等：有識者			
ケース会議	保健：健康増進課	3回/年 (6月、10月、2月)	病院からあげられた患者について情報共有、支援について検討	様々な機関の参加があり、具体的な支援や役割分担を決めることができる。 ケースをあげる病院が偏っている。
	医療：			
	福祉：障害福祉課、くらし支援課、福祉のまちづくり課、障害者総合相談支援センター、在宅療養相談支援センター、地域包括支援センター、障害者権利擁護支援センター、障害者相談支援センター、就労継続支援B型事業所			
	その他関係機関・住民等：有識者			
運営会議	保健：健康増進課	1回/年 (3月)	1年間の推進事業の報告（取り組み、支援中・退院された方の情報共有含む） 1年を通して見えた課題や、今後協議したい内容を話し合う	3病院の院長が出席され、西宮市の取り組みの検討・意識の共有ができる。
	医療：仁明会病院、有馬病院、ありまこうげんホスピタル			
	福祉：障害福祉課、くらし支援課、福祉のまちづくり課、障害者総合相談支援センター、在宅療養相談支援センター、障害者権利擁護支援センター、障害者相談支援センター、就労継続支援B型事業所			
	その他関係機関・住民等：有識者			

【その他事項】

※協議の場の運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載してください

事業利用予定年数：令和8年度まで

到達目標 (R8年度まで)	高齢分野と連携し、高齢の長期入院精神障害者が地域移行できる仕組みづくり
------------------	-------------------------------------

年度	実施内容	具体的な取組
令和6年	高齢分野の関係機関に地域移行推進事業参加の打診。	地域移行推進事業の会議に参加する(1回/年)
令和7年	地域包括支援センターや在宅療養相談支援センターが地域移行推進事業の会議に参加。	精神科病院関係者と高齢分野の関係者が顔の見える関係が築けるよう、地域移行推進事業の推進会議やケース受理会議に参加する(6回/年)
令和8年	地域移行推進事業の構成員が高齢分野の会議に参加。高齢分野で使用している西宮市退院調整ルールが精神分野でも活用できるか検討。	高齢分野の会議に参加する(少なくとも2回/年) 高齢分野で使用している西宮市退院調整ルールが精神分野でも活用できるか、地域移行推進事業の会議の中で検討

10 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール（短期）

到達目標 (R 8年度)	地域包括支援センターや在宅療養相談支援センターが地域移行推進事業の構成機関として参加する。 高齢者の支援機関である地域包括支援センターや在宅療養相談支援センターが関わっている精神疾患を持つ高齢者の事例について検討する。
-----------------	---

時期（月）	実施内容	具体的な取組
R8年4月	地域移行推進会議	今年度の協議内容について検討
5月	地域移行実務担当者会議	病院依頼ケースの確認、長期入院患者の状況確認
6月	ケース受理会議	医療機関や高齢分野から相談があったケースの対応について
8月	地域移行推進会議	長期入院患者の実態視察として精神科病院へ訪問
9月	地域移行実務担当者会議	病院依頼ケースの確認、長期入院患者の状況確認
10月	ケース受理会議	医療機関や高齢分野から相談があったケースの対応について
	「医療・保健・福祉・介護が つながる研修会」実施	基調報告、グループワーク
12月	地域移行推進会議	8月の病院訪問の感想等を共有
1月	地域移行実務担当者会議	病院依頼ケースの確認、長期入院患者の状況確認
2月	ケース受理会議	医療機関や高齢分野から相談があったケースの対応について
3月	地域移行運営会議	今年度の地域移行推進事業の取り組みについて報告
	西宮市精神保健福祉連絡会	地域における精神保健福祉に関する課題や情報の共有